



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻
第7号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻第7号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1978, 24(7): 618-618

ISSUE DATE:

1978-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122227>

RIGHT:

泌 尿 器 科 学 紀 要

第 24 巻 第 7 号

2516176

1978年7月

第2回泌尿器が化学療法研究学会集

- 当教室における進行膀胱癌の化学療法……………鈴木 茂章・ほか… 529
- 奈良医大泌尿器科における進行性膀胱癌の治療成績……………平松 規・ほか… 535
- 進行膀胱癌の化学療法……………三品 雄男・ほか… 541
- 進行性膀胱癌に対する B-M 療法の臨床的検討……………勝見 哲郎・ほか… 547
- 進行性膀胱癌に対する療法
- とくに化学療法および放射線との併用療法について……………池田 達夫・ほか… 553
- 化学療法を併用した膀胱全摘除術の経験……………長船 匡男・ほか… 557
- 進行膀胱癌の化学療法：とくに、膀胱全摘不能例について……………出村 愷・ほか… 563
- 末期膀胱癌に対する亜選択的動注の経験……………早原 信行・ほか… 569
- 進行膀胱癌に対する Adriamycin の選択的動脈内注入療法の検討……………井口 正典・ほか… 577
- 進行膀胱癌の化学療法：まとめ……………古武 敏彦… 585
- 腎移植後に発生した Lymphocele の2例……………浅野 清豪・ほか… 587
- 膀胱腫瘍に対する MMC および Cytosine
- Arabinoside の膀胱内注入療法……………加藤 廣海・ほか… 595
- 前立腺肥大症に対する Phenoxybenzamine の使用経験……………勝見 哲郎・ほか… 609

CONTENTS

- Clinical Analysis of Chemotherapy for Advanced Bladder Cancer…………… S. Suzuki et al… 529
- Immuno-Chemotherapy for Advanced Cancer of the Urinary Bladder
in the Department of Urology, Nara Medical University. ……T. Hiramatsu et al… 535
- Chemotherapy for Advanced Bladder Cancer……………T. Mishina et al… 541
- A Combined Use of Bleomycin and Mitomycin C (B-M Therapy)
in Advanced Bladder Cancer……………T. Katsumi et al… 547
- Combined Treatment of Chemotherapy and Irradiation for
Advanced Bladder Carcinoma……………T. Ikeda et al… 553
- Clinical Study of Total Cystectomy for Bladder Cancer Combined
with Surgical Adjuvant Chemotherapy……………M. Osafune et al… 557
- Chemotherapy for Advanced Bladder Cancer; particularly for
the Inoperable Total cystectomy Cases……………A. Demura et al… 563
- Subselective Intraarterial Infusion of Adriamycin for Terminal
Bladder Carcinoma……………N. Hayahara et al… 569
- Clinical Trials of the Selective Intra-arterial Infusion of
Adriamycin to the Advanced Carcinoma of the Urinary Bladder……………M. Iguchi et al… 577
- The Chemotherapy of Advanced Bladder Cancer: Comment ……T. Kotake… 585
- Lymphocele Following Renal Allotransplantation: Report of Two Cases……………S. Asano et al… 587
- Combination Chemotherapy of Mitomycin and Cytosine Arabinoside
in the Intravesical Route for Bladder Tumors ……H. Kato et al… 595
- Clinical Studies on Phenoxybenzamine in the Treatment of Benign
Prostatic Hypertrophy ……T. Katsumi et al… 609

〒606 京都市左京区聖護院川原町
京都大学医学部泌尿器科学教室
泌尿器科紀要編集部

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica

Department of Urology
Kyoto University Hospital
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606

編 集 後 記

言葉は正しく用いたいものである。だいたい少なくなったが、泌尿科という用語を平気でつかう人がいまだにいる。泌尿器科と書かずに泌尿科と書いてある紹介状を手にすると、一瞬ではあるがいやな気がする。どうもこの人は Urology に関する認識に欠けたところがあるのではなかろうか、などと余計なことまで考えてしまう。

泌尿器科という言葉のひびきは、医学生や若い医師のロマンチズムを刺激したり、自惚れと気負いを満足させたりするものではないのかも知れない。また巷間、誤って認識されている点も否定できない。「それでは」ということでかどうかは知らないが〔後腹膜科〕という新語を用いた人がいる。その英語は Department of Urology であった。気持は分らぬではないが、言葉は一人だけが納得すればよいものではなく、また造語は混乱をまねくもとである。

要は、われわれ泌尿器科医がその専門を窮め、さらに大きく発展することですべてが解決するのではなかろうか。言葉のひびきや、とるに足りない巷間の誤解にこだわる必要もあるまい。

(O.Y.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 音 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料 5,000 円 (送料とも) 前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名 (フリガナ)、住所 (雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けず。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けはいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第7号	1978年7月25日 印刷	1978年7月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500 円 (送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話 (075) 751-3327 (直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
